

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、_：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・個人消費が上向き傾向にある。
		商店街（代表者）	・カラーや柄物などに関しての今年の春物の傾向が明確になってきているなか、客の興味や購買意欲が現時点でもみられているので、実売期になると盛り上がりを見せるのではないかと思われる。
		家電量販店（地区統括部長）	・競合による優勝劣敗が明らかになってきたため、自社には優位に働くと思われる。
		観光型ホテル（経営者）	・大手エージェン트는4月から攻勢に転じるとの情報があり、一縷の望みを託している。海外旅行は低調で、南国指向も暑くなってきては厳しくなることが予想され、定番の北海道ツアーで業績向上を狙うエージェンツの戦略転換がうかがえる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・前年はイラク戦争やSARSの影響によって、4月からの業績は著しく落ち込んだが、今年はそうした要因がなければ、一昨年並みの水準まで回復することができる。
		通信会社（企画担 その他レジャー施設 （職員））	・携帯端末で新機種が登場するため、需要拡大が見込め
	変わらない	百貨店（売場主任）	・通常通りのスポーツ・観光シーズンの幕開けのほかに、プロ野球チームや人気選手による集客増とともに、キャラクター商品の発売による購買増が見込める。
		百貨店（売場主任）	・価格に見合う内容の商品であれば、いくらか割高でも使いたいという傾向がみられるようになってきた。
		スーパー（店長）	・夏場ということもあり、気温に影響される面もあるが、客の低単価志向はこのまま続いていくものと思われる。
		スーパー（店長）	・春物衣料の動きがまだ出ていない。天候による影響もあるが、単価が低下している状況が相変わらず続いている。
		スーパー（店長）	・消費低迷のなかで価格競争がますます激しくなり、固定客の流出や客単価のダウンが予測され、売上不振が懸念される。
		スーパー（企画担当）	・今月は客数が前年比で4%ほど落ち込み、売上も前年比で90%を割っており、このままずっと低迷が続くものと思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・消費税の総額表示の影響は現状不透明であるが、小売業者の低価格販促の強化や消費者の価格に対する不信感の増大の可能性も指摘されており、予断を許さない。いずれにしても、消費のプラス効果はほとんど期待できないのではないかと思われる。
やや悪くなる	乗用車販売店（役員）	・公共工事の予算が削減されているため、この春以降に関しては先行きが見えない状況である。ただし、港の貿易状況が良くなっているため、その影響によってプラスになるか、マイナスになるかが変わってくる。	
	住関連専門店（営業担当）	・地区の受注量からみて上向きになるような状況には乏しい。期待度はあるが、仕事量の動きが今一つパツとしな	
	一般レストラン（スタッフ）	・BSE・鳥インフルエンザなど、食を中心に先が見えず、先行き不安が拡大している。また、4月1日に消費税の表示が変わるため、値上がり感から消費者の景気回復の足を引っ張る恐れがある。	
	旅行代理店（従業員）	・来店した客の話を聞くと、外食の頻度が減っているようである。	
	タクシー運転手	・熟年層が旅行に動き始め、売上が上昇傾向にあるものの、ビジネスでの旅行需要や家族の旅行需要が低迷しており、総じて回復傾向にあるとはいえ、予断を許さない状況である。企業の出張や招待旅行、家族での道内温泉旅行などが増加した時に、初めて先行きの明るさを実感する	
	観光名所（役員）	・規制緩和で個人タクシーが札幌市内で新規に160台ほど増え、供給過剰が一段と激しくなる。タクシーの利用客が増えないなか、競争が激しくなり、1台当りの売上がますます減少する。	
	観光名所（役員）	・ツアー客の減少と卒業旅行の個人客の増加が相殺しあい、ほぼ同数の見通しである。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・今は零細企業にとっては状況が悪く、先が見えないなかギリギリの状態である。営業している店舗が非常に多い。	

		スーパー（店長）	・客数はほぼ前月並みで推移しており、客単価の低下が売上の前年実績未達成の最大要因となっている。客は低単価商品へのシフトなどシビアな商品選択をしているとともに、必要最小限の商品しか購入しておらず、この傾向は今後とも継続すると予想している。
		コンビニ（エリア担当）	・家庭の食料品消費支出金額が減少するなか、競合店の出店増加が今後も予想されているため、売上が回復することは困難になってきている状況である。
		衣料品専門店（店長）	・前年と同様な販売体制をとり、更にプラスアルファを行って対応しているものの、客の買い渋りが続いている。安い商品への志向が強まっている傾向が見受けられる。
		乗用車販売店（従業員）	・新車販売は相変わらず厳しいが、車検などの値段も気にする人が多くなり、サービス収益も減りつつある。
		高級レストラン（スタッフ）	・3月の予約は前年並みに入っているが、4月以降の予約状況が悪くなっている。
		観光型ホテル（経営者）	・全国的に景気が上向きと言われるなか、北海道における観光需要の見通しについては、今のところ良い材料が全くない状況である。
		タクシー運転手	・土建業などは、タクシー業界において夜間の客として密接な関係にあるが、土建業界では公共工事削減の影響から倒産や会社整理などを行うケースが多くなっている。
		観光名所（職員）	・タクシーの空車が多くなったように感じる。
	悪くなる	コンビニ（エリア担当）	・ボーナスから社会保険などが引かれ、可処分所得が減っている。その結果、入学シーズンを迎えるに当たり、食費が真っ先に削られることが予想される。
		スナック（経営者）	・東京や大阪では、一部の企業で景気回復ということが聞こえてくるが、北海道ではまだ観光客も増えず、様々な面で景気回復にはほど遠いと思われる。長い年月の間に客の出入りが少なくなってきた面もあるが、ライバルもかなり増えており、来客数が少なくなってきた。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（経営者）	・米国におけるBSEの発生が、今後水産物に対してはやや追い風となると想像される。また、春の水産物需要期を迎える。
		家具製造業（経営者）	・高級品に動きが出てきた。
		輸送業（営業担当）	・為替や市況にもよるが、輸出入貨物の動きが上向きになると思われる。
		その他非製造業〔機械卸売〕（従業員）	・鋼材および関係副資材の値上げ通告が浸透し、仮需要が発生している。春先にかけて再度の値上げが予想され、一部銘柄には品不足が出ているため、ユーザーによっては在庫の積み増しを計画している。
	変わらない	金属製品製造業（経営者）	・公共事業の削減に伴い、それに関わっている企業では売上の減少が起きているなど、大きな影響が出ている。また、鉄鋼業界では材料となる鉄鋼材の値上げなど、不安定な材料が非常に多く、先行きの不透明感が非常に強くなった。
		通信業（営業担当）	・ここ半年くらい受注量・金額とも特段の変化はなかった。年度末が近い2月も大きな変化はなかったため、しばらくは横ばいと考えている。
		金融業（企画担当）	・北海道庁の新年度予算も緊縮型となり、各方面にマイナスの影響が及ぶ。消費税額の表示変更も企業にとって負担増加となる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・大型倒産が発生するなど、マインドが回復する雰囲気がない。
	やや悪くなる	輸送業（支店長）	・輸入雑貨を扱っている一部の業態を除いて、荷主からの引き合いが例年よりもかなり少なく、縮小に向かっている企業がことのほか多い。荷動きの面からみると、平成16年度の第一四半期は前年よりも悪化すると想定される。
		その他サービス業〔システムハウス〕（経営者）	・現在、話が出ている受注案件は、年度末納期のもものが多く、4月以降につながるものが極めて少ない。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・今年度は補正予算で公共工事の追加がなく、また、民間企業も今一つ盛り上がり欠けるため、今後の息切れが心配される。
	悪くなる		

雇用 関連	良くなる やや良くなる	人材派遣会社(社 求人情報誌製作会社 (編集者)	・長期オーダーの求人が若干ではあるが、増えてきてい ・旭川の大規模ショッピングセンターのオープンに関連する 求人募集の効果が現れている。雇用人員も大量確保が決 まっており、それに伴った求人広告の影響で全般的に求人 動向が上向き傾向にある。また、全般的な業種動向も緩や かではあるが上向きになっている傾向が感じられ、こうし た状況が2～3か月は続くのではないかと考えられる。
	変わらない	求人情報誌製作会社 (編集者)	・求人件数は順調に伸びを見せているが、業種全体という 訳ではなく、本州の製造系企業の影響が大きくなってい る。飲食業界でも伸びを見せ始めているが、確固たる感じ ではない。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・官民ともに大型事業がなく、今のところ求人件数が伸び る要素が見当たらない。地元の農業生産も天候などの外的 要因に左右されることから、微妙な状況である。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・求人のボリュームゾーンである小売・飲食、建設業に大 きな変化はみられない。
		職業安定所(職員)	・大型ショッピングセンターの開店に伴う大量求人によ り、新規求人・求人倍率は良くなったが、これは一過性の ものであり、相変わらず景気の上昇は見られない。
	職業安定所(職員)	・建設業および関連産業が工事完了により、事業を縮小し ていることから雇用需要が見込まれない。	
やや悪くなる			
悪くなる	-	-	